

連合自治会ニュース

連合自治会長 山内 満

平成18年度にスタートした近鉄線高架化事業もようやく終盤に入り、平成28年度夏頃には上り線名古屋方面のホームも開通の見通しとなりました。

ホームは津波対策緊急避難所として期待が大きいもので住民の安心となります。

今後の工事の中では①川原町駅前広場の整備でバスの回転も視野に検討していく。②高架下の利用として駐輪場、滝川公園と一体となった駅東広場の活用、駅への歩行者の動線として活用、さらに防災空間としての活用を市は検討しています。これらは今年度末をめどに具体的な整備計画を決定し平成28年度工事となります。また同時に副駅名について今年度末にかけて決定していきます。

協議会としては住民皆さんの意見を十分汲み取ったものとなるよう今後も努力してまいります。

マンションで防災訓練

橋北第2市民防災隊 隊長 伊藤 信夫

8月9日の日曜日、「エルグランデ滝川」マンションにおいて、消防署員・橋北消防分団員 指導のもと滝川Iのみなさま・市民防災隊員もまじえての防災訓練をおこないました。(参加者、消防関係者含め約70名)。

訓練は津波避難指示が発令されたとの想定で、歩行困難な方の安全な場所への避難の方法の実技、ビル火災発生時の避難の方法のお話し、そして、マンション屋内消火栓による放水、消火器取り扱い方等を体験し、また消防署員・分団員による消防車からの放水の披露もありました。

約1時間ほどで訓練は終了し、参加者は暑い中真剣に取り組んでいただきました。



自治会長の思い

我が町は南北に二分していた組織を平成15年度に統一し、新しい陶栄町として生まれ変わりました。その後大型マンション、1R住宅の建設が進み現在では自治会加入者約200戸、住民約500名の大世帯となりました。

統一以降の自治会長としては6代目になります。

一昨年規約改正で導入された、選挙制度で選ばれた初代会長となります。

本来の自治会の目的から離脱することなく、住民相互の支え合いにより福祉、防災、環境美化等の活動を少しでもお役にたつよう進めていきたいと思っています。

また 現在は南海トラフ地震を想定した防災、減災一色の活動ですが、日常一番身近な環境美化を視野に考え、全員参加の「きれいな（ゴミの落ちてない）町づくり」に傾注したいと考えています。

抱負＝今後こうしようと思っている考えや計画

想定＝かりに思いうかべ考えてみること

視野＝目に見える範囲

傾注＝心うちこむ



陶栄町自治会長 伊藤 利明



橋北地区連合自治会

文化・広報部

発行責任者

山内 満

編集責任者

山本 勇三